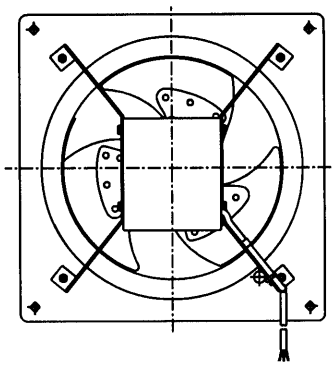
TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝有圧換気扇（業務用）
取扱説明書



●ステンレス標準形（給気使用可能）

〈単相100V〉	〈三相200V〉
形　名	形　名
VP-254SAS$_2$	VP-254TAS
VP-304SAS$_2$	VP-304TAS
VP-424SAS$_2$	VP-424TAS
	VP-546TAS

●ステンレス高耐食形（排気専用）

〈単相100V〉	〈三相200V〉
形　名	形　名
VP-304SAS-F	VP-304TAS-F
VP-424SAS-F	VP-424TAS-F
	VP-546TAS-F

もくじ

安全上のご注意 ……2〜3
取り付け上のお願い ……3〜4
各部のなまえと寸法……4
取り付けかた ……5〜6
試運転……6
使いかた……6
点検・お手入れのしかた ……6〜7
仕　様……7
修理を依頼される前に……8
ご不明な点や修理に関するご相談は……8

このたびは東芝有圧換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

（工事店さまへ）

●取付工事を始める前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全に取り付けてください。取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。配線工事は有資格者である電気工事士の方が実施してください。

- この製品は、標準形が厨房・下水処理場・塩害地域、高耐食形が温泉・温水プール・重塩害地域で使用するものです。
- この製品には単相製品と三相製品があります。電源を確認して取付工事を行ってください。

●この取扱説明書は取付工事完了後、お客さまにお渡しください。

（お客さまへ）

●この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

●お読みになったあとはいつも手元に置いてご使用ください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことが想定されること" を示します。
⚠注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(＊2)を負うことが想定されるか、または物的損害(＊3)の発生が想定されること" を示します。

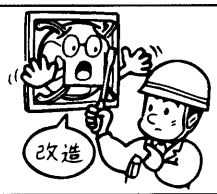
＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。
強制	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。



改造禁止

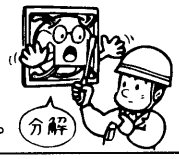
メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取り付ける場合、外枠とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付ける
火災・感電の原因になります。

取付注意

アースを確実に取り付け、漏電しゃ断器を設ける
故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。
※アース取り付けは販売店・電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。

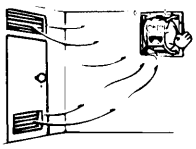
アースを接続する

修理技術者以外の人は、分解・修理（※）をしない
火災・感電・けがの原因になります。
※修理はお買上げの販売店、または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。



分解・修理禁止

自然排気型のストーブをご使用のときは、空気の取入口により十分給気される配慮をする
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

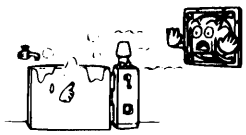


給気注意

点検・お手入れや修理を依頼するときは必ず分電盤のブレーカーを切る
また、ぬれた手で操作しない
電源プラグを取り付けた場合は電源プラグを抜く
感電・けがの原因になります。

電源を切る

内釜式風呂を設置した浴室がある場合は使用しない
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。



使用禁止

電気部品は、水につけたり水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

水かけ禁止

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く
（電源プラグを取り付けた場合）
火災の原因になります。

ほこりをとる

ガス漏れのときは、換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない
ガス爆発の原因になります。

入り切り禁止

電源は定格電圧・定格周波数を使う
定格電圧・定格周波数以外の電源を使うと火災・感電の恐れがあります。

定格電圧・定格周波数使用

運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない
けがの原因になります。

接触禁止

爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れのある場所には取り付けない
爆発・火災の原因になります。

取付禁止

電源コードが傷んでいるときは使用しない
火災・感電の恐れがあります。

使用禁止

電源コードはつっぱらないようにゆとりをもたせて配線する
火災・感電の恐れがあります。

電源コードにゆとりをもたせる

標準形は塩素消毒している温水プールや、酸・アルカリ、腐食性物質、腐食性ガスなどの濃度が高い場所、及び湿気の多い（相対湿度95%以上）場所には取り付けない
腐食して落下し、けがをする恐れがあります。

取付禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない
電線に荷重をかけない
火災・感電の原因になります。

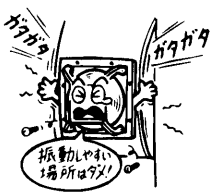
傷・加工禁止

高耐食形は腐食性物質・腐食性ガスの濃度が高い場所では、製品寿命が著しく短くなる場合があるので、定期的（約1年を目途）に点検を行う
腐食して落下し、けがをする恐れがあります。

点検をする

⚠注意

本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によりけがの原因になります。



取付注意

お手入れや取り付けのときは、ゴム手袋を着用する
手袋を着用しないとけがの原因になります。

手袋着用

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く（電源プラグを取り付けた場合）
コードに傷がつき、火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

電気工事・アース工事は電気工事士（※）が行う
電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの恐れがあります。
※電気工事士への依頼はお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

電気工事士が実施

電源電線の接続は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する
接続不良や誤った電気工事は火災・感電の原因になります。

確実に行う

長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る
電源プラグをコンセントから抜く（電源プラグを取り付けた場合）
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。

ブレーカーを切る

本体に異常な振動が発生した場合は使用しない
本体・部品の落下により、けがをする恐れがあります。

使用禁止

羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃をする
振動により部品が破損して落下しけがの恐れがあります。

清掃する

標準形は、浴室など湿気の多い場所（相対湿度95%以上）には取り付けない
火災・感電の原因になります。

風呂・シャワー室での使用禁止

羽根などの部品は確実に取り付ける
落下により、けがの原因になります。

確実に取り付ける

高耐食形は、相対湿度98%以上の場所には取り付けない
火災・感電の原因になります。

取付禁止

直接炎があたる恐れのある場所には取り付けない
火災の恐れがあります。

取付禁止

屋外など雨のあたる場所には取り付けない
火災・感電の原因になります。

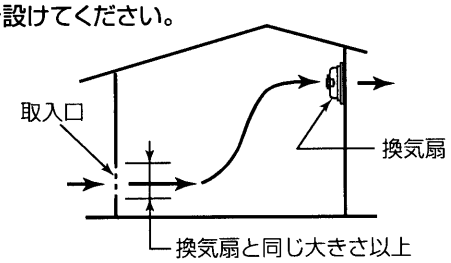
取付禁止

1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない
部品が破損し落下によりけがの恐れがあります。

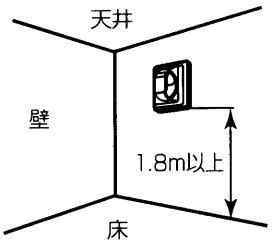
使用禁止

取り付け上のお願い

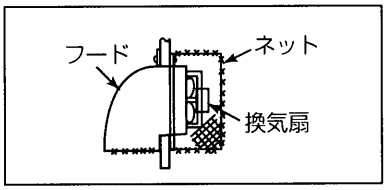
- 製品に直接風雨のあたるところには、シャッター、ウェザーカバー等を取り付けてください。
- 効率よく換気するため、煙・悪臭などが発生するところでは、発生源の天井の近くに取り付けてください。また製品と反対側の位置に製品と同じ大きさ以上の空気の取入口を設けてください。



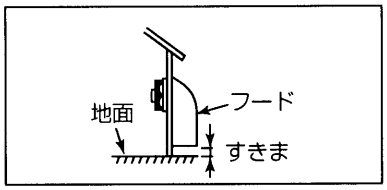
- 危険防止のため換気扇は手の届かぬように床より1.8m以上離して取り付けてください。



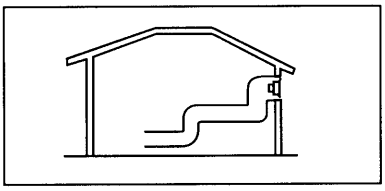
- 使用限界静圧以下でお使いください。（カタログ「静圧—風量特性」を参照してください。）
また、下記のような使いかたは、風の流れの抵抗をいちじるしく高め、モータに必要以上の負荷がかかりますのでおやめください。モータの寿命が短くなります。



ネットなどを換気通路に設置したときに、ほこり等でネットが目づまりし、使用限界静圧を超える場合。



空気の取入口（または吐出口）が極端にせまい場合。
※上図のような場合のすきまは1m以上にしてください。



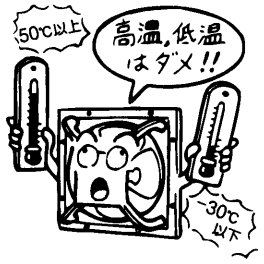
空気の取入口の無い密閉された場所、および幾度も曲がったダクトや、細くて長いダクトを使用し、使用限界静圧を超える場合。

- VP-546TAS、VP-546TAS-Fは軸垂直羽根下向き姿勢で取り付けないでください。
- 機器組込み用途で使用しないでください。

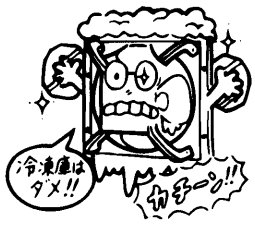
取り付け上のお願い　つづき

●次のような場所には取り付けないでください。
故障の原因になったり、モーターの寿命が短くなります。

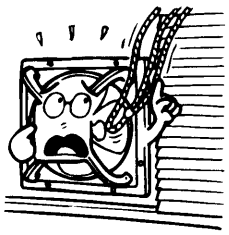
●50℃以上になる場所
●－30℃以下になる場所



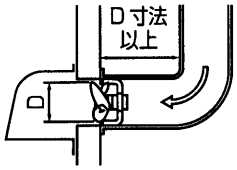
●氷結する恐れのある場所および冷凍室



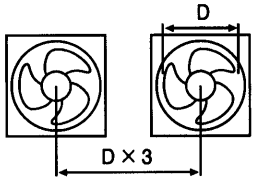
●障害物のある場所



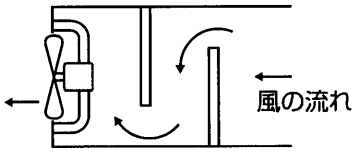
●極端に高い静圧のかかる場所
（有圧換気扇の吸込側は、羽根径Ｄと同一寸法以上の空間を設けてください）



●２台以上が近接する場所
（製品と製品の中心は羽根径Ｄ寸法の３倍以上離してください）

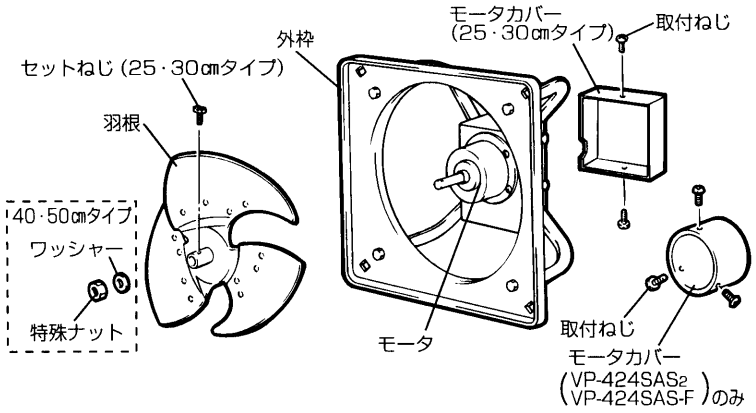


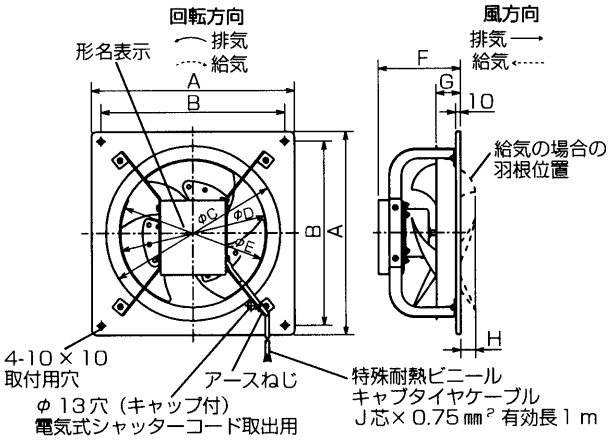
●下図のように、吸込側に遮へい物や極端な風路の曲がりがある場所
（偏流が起こり羽根が破損することがあります）



●ほこりや油煙の多い場所

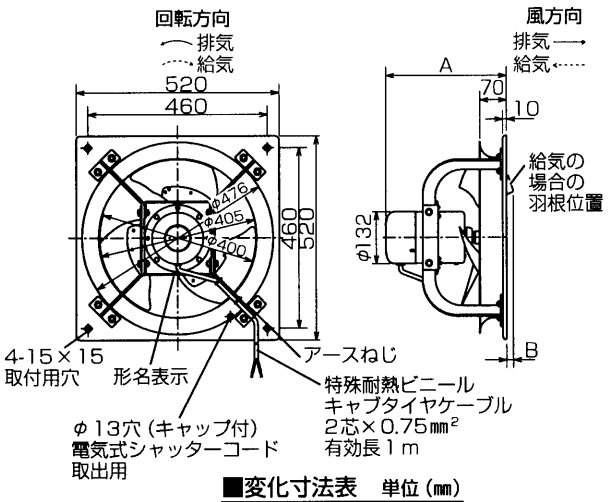
各部のなまえと寸法





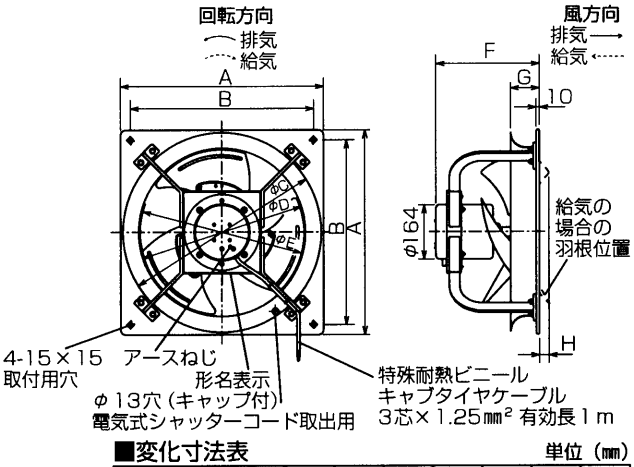
■変化寸法表　単位（㎜）

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J
VP-254SAS2	370	330	298	255	250	171	50	38	2
VP-254TAS	370	330	298	255	250	171	50	38	3
VP-304SAS2	420	380	348	305	300	169	50	34	2
VP-304TAS	420	380	348	305	300	169	50	34	3
VP-304SAS-F	420	380	348	305	300	169	50	－	2
VP-304TAS-F	420	380	348	305	300	169	50	－	3



■変化寸法表　単位（㎜）

形　名	A	B
VP-424SAS2	318	20
VP-424SAS-F		－
VP-424TAS	261	20
VP-424TAS-F		－



■変化寸法表　単位（㎜）

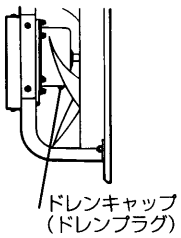
形　名	A	B	C	D	E	F	G	H
VP-546TAS	620	560	605	510	500	316	88	12
VP-546TAS-F								－

取り付けかた

天井近くの高い位置で反対側に空気取入口がある場所が効果的な取付場所です。
運搬作業、取り付けの際、羽根などを変形させないように十分注意してください。羽根が変形しますと、羽根のバランスがくずれ、騒音・振動などの原因になります。

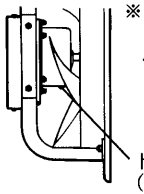
お願い

- 取り付けに使用するボルト・ナット・ワッシャーなどはステンレス製のものを使用してください。（鉄製のものを使用すると、もらいさびの原因となります）
  高耐食形を取り付ける場合は、ボルト、ワッシャー、ナットは防食処理（シリコンシーランドで覆う等）を実施してください。
- 本体の取り付けは４角の取付用穴を使用してください。
- 有圧換気扇は、モータ軸が水平および垂直（羽根下・上）で使用できますが、VP-546TAS、VP-546TAS-F は軸垂直羽根下向き取り付けできません。また必ずモータに設けたドレンプラグ（ドレンキャップ）が下側になるように取り付けてください。
- 外枠をコンクリート等に直接埋め込まないでください。



本体の取り付けかた

ドレンプラグ（ドレンキャップ）について

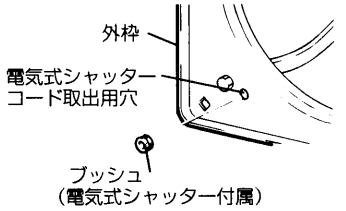


湿度の高い場所で使用する場合は、モータに設けたドレンプラグ（ドレンキャップ）が下側になるように取り付け、下側になったドレンプラグ（ドレンキャップ）は取りはずします。

- モータカバーのある機種は、モータカバーをはずしてから行い、元通り取り付けます。

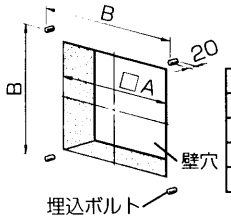
電気式シャッターを取り付ける場合

電気式シャッターの電源コードを有圧換気扇側に引き込む場合、電気式シャッターコード取出用穴のキャップを取りはずし、右図のように電気式シャッター付属のブッシュを取り付けます。



コンクリート壁に取り付ける場合

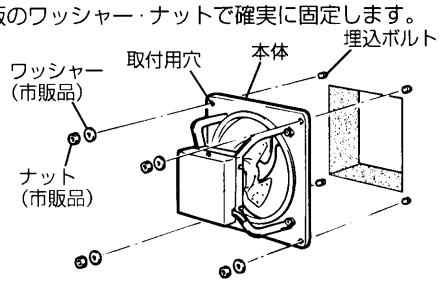
1. 壁穴をあけ、下図の位置に市販の埋込ボルトを埋め込みます。



単位（mm）

タイプ	A	B	ボルト径
25 cm	275	330	M8
30 cm	325	380	M8
40 cm	430	460	M12
50 cm	530	560	M12

2. 本体を取り付けます。
埋込ボルトに本体４か所の取付用穴を通し、市販のワッシャー・ナットで確実に固定します。



別売部品を使用して取り付ける場合

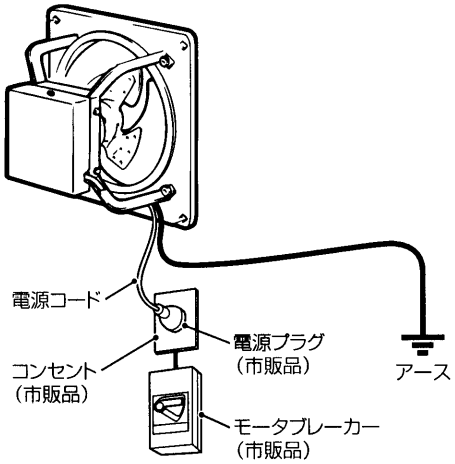
壁面との取付部材として木枠・不燃枠・金枠・絶縁枠・給気用アタッチメントを用意しております。
用途に応じてお選びください。
適用機種はカタログを参照してください。

電気工事

お願い

配線部材は、電気用品安全法適合品で、電気容量が合ったものを使用してください。

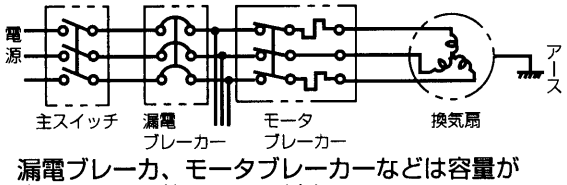
- 単相 100V と三相 200V の製品がありますので電源の間違いがないか確認のうえ接続してください。間違った電源で運転するとモータが焼損します。
- 電気設備の技術基準に基づき、電気工事士による D 種接地工事（アース）を行うとともに、漏電ブレーカを必ず設置してください。（故障・漏電時の感電防止）アース線は銅線直径 1.6mm 以上を使用してアースねじへ確実に接続してください。
- モータの過負荷保護のため配線系統にモータブレーカまたは電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）などの過負荷保護装置を使用してください。
  過負荷保護装置は必ず機器 1 台毎に設置してください。
  過負荷保護装置の選定は「仕様」の最大負荷電流の 1.2 ～ 1.5 倍程度を目安にしてください。



お願い

三相 200V 製品の電気工事について

- 欠相運転しますと、モータが過熱し危険ですので、欠相運転にならないようにご注意ください。
- 欠相はプラグ、スイッチなどの不完全な接続、スイッチなどの接点の接触不良及び、モータ内ヒューズが一相のみ溶断した場合などに起こりますので安全上、換気扇 1 台に 1 個のモータブレーカーを設置してください。



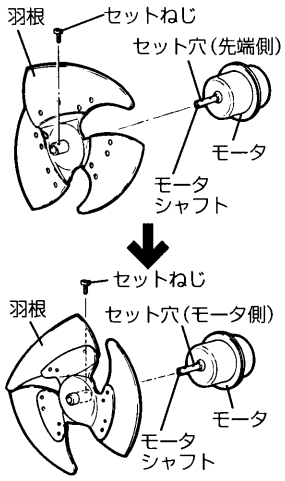
漏電ブレーカ、モータブレーカーなどは容量が合ったものを使用してください。

取り付けかた　つづき

給気用として使用する場合

■工場出荷時は排気仕様です。給気用として使用される場合は羽根の付け換えと結線の変更が必要です。
■高耐食形 VP-304SAS-F、VP-424SAS-F、VP-304TAS-F、VP-424TAS-F、VP-546TAS-F、は給気にはできません。

セットねじ方式 …25・30cmタイプ

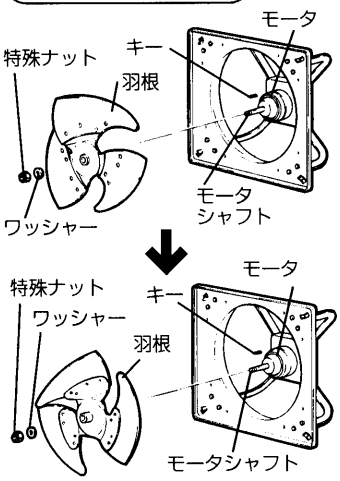


1. セットねじをゆるめ、モータシャフトから羽根を取りはずします。
2. 羽根を裏返してモータシャフトに差し込み、セットねじをセット穴に締め付け固定します。

お願い

- セットねじは確実に締め付けてください。(羽根が落下するおそれがあります)
  締め付けトルク：230～300N・cm

特殊ナット方式 …40・50cmタイプ



1. 特殊ナット・ワッシャーをはずし、モータシャフトから羽根を取りはずします。
2. 羽根を裏返してモータシャフトに差し込み、特殊ナットで確実に締め付けます。
   - キーがはずれた場合はキーをはめ込み、羽根を差し込みます。

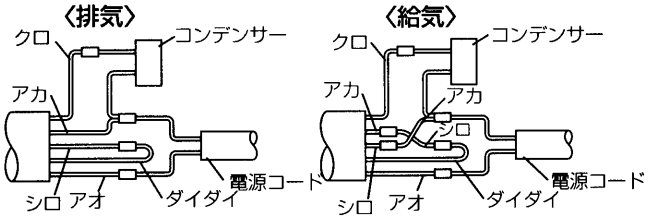
お願い

- キーを入れ忘れたり、特殊ナット以外のナットを使用したり、締め付けが不十分だったりしないでください。(羽根の破損・製品の故障の原因になります)
  締め付けトルク：
  4000～5200N・cm

結線の変更

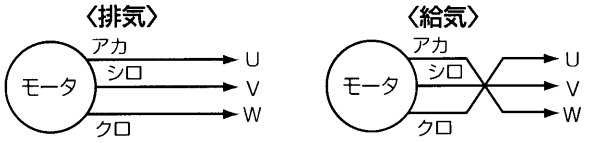
単相製品 ……標準形

- 本体に貼り付けられている結線図を参照し、モータカバーを開け、リード線のアカとシロを入れ換えてください。



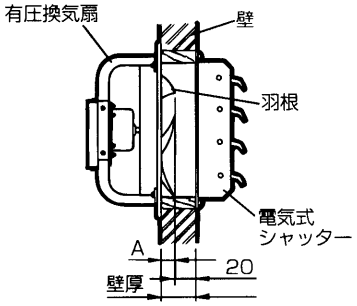
三相製品 ……標準形

- 電源接続のリード線２本を入れ換えてください。



お願い

- 羽根を付け換えますと、羽根先端が取付枠から出ます(A寸法)ので、羽根を変形させないように注意してください。
  また、羽根側を下にして換気扇を置かないでください。
- 電気式シャッターを使用する場合は「A寸法＋20㎜」以上の厚さの壁をはさんで取り付けてください。
- 別売部品の給気用アタッチメントをお使いになると便利です。



単位(mm)

タイプ	A
25cm	38
30cm	34
40cm	20
50cm	12

試運転　取付工事終了後は、次のことを確認します。

1. 本体、羽根が確実に取り付けてありますか。
2. 電源コードに傷･いたみはありませんか。
3. 正しくアース工事がしてありますか。
4. ブレーカーを「入」にして試運転を行う。
   ･異常な振動や騒音はありませんか。
   ･回転方向が逆ではありませんか。
   (上記 結線の変更 を参照し入れ換える)

使いかた　ブレーカーで操作します。

運転……ブレーカーを「入」にします。
停止……ブレーカーを「切」にします。

お願い

- 停電のときは必ず電源を切ってください。
  知らぬ間に羽根が回り、事故を起こす恐れがあります。

点検・お手入れのしかた

ボルト・ナットのゆるみの点検

3か月に１度の清掃の際、下記の点検を行う。

さ　び	●製品および製品取付用のナット・ボルトがさびていませんか
ガタつき	●製品を取り付けたナットがゆるんでいませんか ●羽根やモータは確実に止められていますか
損　傷	●モータの外観が変色していませんか ●電源コードにキズなどありませんか
ほこり	●モータなど温度の高い部分にほこりの付着はありませんか

1年に1回程度

異常音	●　異常音がありましたら、工事店にご相談ください

羽根などの清掃

約３か月に１度を目安に清掃する。

■お手入れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。
■ほこりの多い場所で使用している場合は３か月に１度を目安に、下側のドレンプラグをはずしてドレンを抜き、元通りドレンプラグを取り付けます。

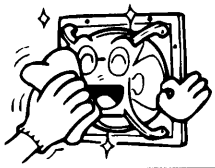
全体の清掃

■油、粉塵などの可燃性の汚れが換気扇に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となるおそれがあります。定期的（１年目安）に清掃してください。

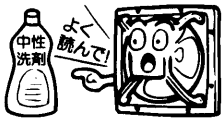
お願い

お掃除の際には羽根を変形させないよう十分ご注意ください。

お手入れの際にはケガをしないように、厚手の手袋などをご使用ください。



住宅用または家具用合成洗剤（アルカリ性）などは、塗装をはがすものもありますので、使用しないでください。
洗剤をご使用になる前には必ず注意書をよくお確かめください。



お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色する原因になります）

アース線が断線したり、端子からはずれたりしていないか、ときどきお確かめください。

●お手入れが終わりましたら、異常な振動、騒音がないことを確かめてからご使用ください。

仕　様

形　名	電圧 (V)	排気/給気	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	電流 (A)	風量 (m^3/h)	騒音 (dB)	最大負荷電流 (A)	起動電流 (A)	質量 (kg)
VP-254SAS2	単相100	排気	50	40.5	0.56	990	36.5	0.62	1.36	5.4
			60	44.0	0.50	1160	40.5	0.67	1.30	
		給気	50	41.5	0.57	980	40.5	0.66	1.36	
			60	45.5	0.51	1150	44.5	0.75	1.30	
VP-304SAS2		排気	50	54.0	0.63	1540	41.5	0.83	1.95	6.5
			60	68.0	0.69	1800	45.0	0.96	1.87	
		給気	50	55.5	0.65	1540	46.5	0.85	1.95	
			60	70.0	0.71	1800	50.5	0.92	1.87	
VP-424SAS2		排気	50	151	2.06	3730	51.0	3.16	10.60	15
			60	197	2.06	4400	55.0	3.32	10.20	
		給気	50	169	2.19	3800	56.0	2.51	10.60	
			60	227	2.34	4390	60.0	2.91	10.20	
VP-304SAS-F		排気	50	54.0	0.63	1540	41.5	0.83	1.95	6.5
			60	68.0	0.69	1800	45.0	0.96	1.87	
VP-424SAS-F		排気	50	151	2.06	3730	51.0	3.16	10.60	15
			60	197	2.06	4400	55.0	3.32	10.20	
VP-254TAS	三相200	排気	50	46.0	0.32	1010	38.0	0.32	0.91	5.4
			60	48.0	0.27	1180	41.0	0.29	0.87	
		給気	50	47.5	0.32	1000	42.0	0.32	0.91	
			60	49.5	0.27	1180	45.0	0.30	0.87	
VP-304TAS		排気	50	50.5	0.33	1550	42.0	0.36	1.25	6.5
			60	63.0	0.31	1800	45.0	0.37	1.20	
		給気	50	52.0	0.33	1550	47.0	0.38	1.25	
			60	65.5	0.31	1790	51.0	0.37	1.20	
VP-424TAS		排気	50	132	0.80	3760	51.5	1.06	5.36	13.5
			60	184	0.79	4390	55.0	1.09	5.02	
		給気	50	152	0.83	3710	55.5	0.94	5.36	
			60	213	0.85	4370	60.0	0.99	5.02	
VP-546TAS		排気	50	207	1.32	5770	47.5	1.72	9.71	27
			60	300	1.33	6820	52.0	1.91	8.64	
		給気	50	247	1.37	5280	53.5	1.45	9.71	
			60	369	1.47	6180	58.5	1.61	8.64	
VP-304TAS-F		排気	50	50.5	0.33	1550	42.0	0.36	1.25	6.5
			60	63.0	0.31	1800	45.0	0.37	1.20	
VP-424TAS-F		排気	50	132	0.80	3760	51.5	1.06	5.36	13.5
			60	184	0.79	4390	55.0	1.09	5.02	
VP-546TAS-F		排気	50	207	1.32	5770	47.5	1.72	9.71	27
			60	300	1.33	6820	52.0	1.91	8.64	

●消費電力・電流・風量・騒音は静圧 0Pa 時の特性値です。
●風量測定は JIS C9603 オリフィスチャンバー方式によるものです。
●騒音の値は正面と側面に 1.5m 離れた地点 3 点を無響室にて測定した平均値です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません、また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

修理を依頼される前に

■下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検　と　処　置	点検実施者	
		工事店	お客さま
通電しても回転しない	●電源の接続は正しいですか（正しく接続する） ●ブレーカーが切れていませんか（入にする）	○	○
運転中に異常音や振動がする	●羽根・本体の締め付けがゆるんでいませんか（締め付け直す） ●軸受の音がしていませんか（モータを交換する） ●全面に錆が発生していませんか（錆の発生した部品を交換する）	○ ○	○
焦げ臭いにおいがする	●羽根は軽く回りますか（羽根に何か引掛かっている場合は取り除く） ●周囲温度が50℃以下ですか（温度を測定する） ●強酸、強アルカリ性の腐食性ガスの濃度が高い場所で使用していませんか（取付場所およびモータ内部の腐食確認後モータ交換する） ●異常に湿度が高い場所で使用していませんか（取付場所およびモータ内部の腐食確認後モータを交換する）	○ ○	○ ○

■上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。（有料）
★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は **お買い上げの販売店へご相談ください。**
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-00**

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038（通話料：有料）**

FAX 045-461-3493（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは　出張修理

● ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	東芝有圧換気扇（業務用）
形　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 電話（　）　－

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料、部品代、出張料等で構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※お買上げ店名を記入されておくと便利です。

■補修用性能部品の保有期間
● 換気扇の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際、このようなことはありませんか?

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅い、または不規則。
- こげ臭いにおいがする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社
〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

0907874HF4604
ET9X315401－②
VP-254TAS (8 / 8)